

再生

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

理想的の塾経営をせむといふ

君頼もしとわが聞きてをり

森信三先生あいうえお語録より

第0043号

2020.3月号

令和三年

実践人福岡仁風読書会

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

七 親はいのちの根であり元である

根を養えば樹はおのづから育つ

東洋的心情

さて東洋と西洋とを比較考察する上で一ばん根本的なことは、もともと東洋は農耕民族であるに反して、西洋は遊牧の民だったということでしょう。そしてそれが生活のあらゆる面に現れていて——たとえば東洋では「種」の伝承を重んじるに対して、西洋では「個」の独立を重んずるに至っているのです。そしてそこからして、前者から伝統尊重のタテの原理が生まれ、後者からは生存競争のヨコの原理につながることは、まさに理の当然と思われまふ。そして東洋人が一般に情緒性に富み、西洋の人が合理性に優れているというのも、農耕・遊牧という生活様式の根本的な相違にもとづくものといえまふでしょう。

これは東・西の両文明について大雑把なとらえ方ですが、しかしここで申したいことは、西洋の論理をもつてしては、東洋の情緒的心情の味わいはどうも捕えにくいということでありまふ。すなわち合理性の原理や闘争の原理をもつては、生命の原理や心情の原理は解しがたいということでありまふ。それに比べては東洋の生命の原理をもつてすれば西洋の原理たる合理主義も比較的し易いといえまふでしょう。

しかるに合理的な論理史上主義では、前にも申すように生命の実相はとらえにくいということでありまふ。「孝」の哲理について説くことの難しさを、第一章の初めに申したのも、その根元は実にこの点に発するわけでありまふ。それと申すのも「孝」とは、生命の根元に根ざす最も東洋的な真理だからでありまふ。

ところで皆さん方が、高校や大学などにおいて勉強してこられたのは、主として西洋の論理の上に立つ知識であつて、その点から申しますと、この「孝」の哲理というものは、これを理論的に解明することは甚だ困難なわけですが、同時にそれだけ真理の中でも最も深奥な真理なわけでありまふ。それと申すのもわれわれの血の中には、深遠な東洋的ないのちの直感的叡智が潜んでいるのでありまふして、わたくしとしては今こそ、このような靈性を覚醒するために警鐘を鳴らしたのでありまふ。

恩の真理

ところで本章のように「親はいのちの根であり元である。根を養えば樹はおのづと育つ」という一語には、人によつては抵抗を感じる人もいないわけでもあるまいと思ひまふ。と申すのも「これは植物的真理ではあつても、それをどうして人間の真理と言ひ得るか」といわれる人も無いわけでもないでしょう。そしてこれは一見したところ、如何にもと背づかれる人もあろうかと思ひまふが、しかしご承知のように人間はいのちの全一的な有機体でありまふして、ある意味では動物的生命の最高の発現であると共に、内には植物的生命をも宿しているのでありまふ。否そればかりでなくて、無機的な鉱物的生命も宿しながら、なおかつ人間独自の生命を果すべく宇宙的生命をささづかっているわけでありまふ。われわれの食べ物を考へても、鉦・植・動の恩恵にあずからぬものはないわけであらう。われわれ東洋人はもともと農耕民族であり、菜食を主とする民族なのでこのような植物的生命の原理、すなわち生命成育の理を重んじて来たわけでありまふ。

実践人福岡仁風読書会 第40回 2月1日(土)

場所福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

環境の構成

運動場が狭いので第一棟を取除き、裏に第二、第三の校舎を建てられ、第一棟の東端にきれいな図書館が独立したが、まだ改築の片付けもすまず取り散らかっていた。校長、教頭同時の異動ではあつたし、時の山下PTA会長がみずから陣頭指揮で、各部落を動員して後片付けから、新しい校庭の改装に当られた。幸にして、校区内赤坂部落には庭師の徳永さんが居られ献身的に指導されて、九月までかかつて玄閑隠しの大蘇鉄の移動でやっと第一次の工事が終わった。植木の足りないところは、各部落の名木を持ちよられたので、図書館前庭には日本風の大庭園がいき、砥上部落からりっぱな庭石の寄贈を受けて、堂々たる玄閑隠しも出き上がった。

一旦巻き起こった造園旋風は止まるどころを知らずと言った風に、次々と高まった。園芸部の伊藤先生、中西先生を中心に、筑陽高校の桑野千年先生の指導の下に、砥上岳に何回も何回も、子どもを連れて登ってはさまざまの植木や、菊の腐葉土を取ってきた。浦山教頭も理科の達人だけにいろんな植物を各地から集められ、次から次へと挿木で増やしていった。おかげで校庭周辺はくまなく植物で埋められていった。第二回の校舎改築で古い三教室が改築された時には、各部落から二本苑の献木、家庭子供からの一戸一献木運動によつて一そう充実したものになり、春の緑の週間の「緑の羽根」運動に参加して、教材にある植物は全部揃えていった。こうした運動が続けられていくと、支援者同好者はそれにつれて増えていくものである。黒板屋の上野君が田主丸の本場を案内し、私どもはPTAの施設部委員などと、毎年植木買に出かけた。又、会長さん方も退任の記念に植木を寄贈され、会員の松沢

さんなど、珍しい木や欲しい木をすぐ持つて来てやられた。

卒業記念品も毎年、環境作りの奉仕をお願いした。初年度は中庭の中宇の池、次年度は図書館前庭の洋式池、三年度は運動場東端の大藤棚、それぞれ業者の篠原さんの特別の援助も大きかった。四年目は岩石園作り、この時は津屋崎に、福岡の石材店に、又雨の中を阿蘇山まで卒業生の父兄は自家用車を飛ばして採集し、又砥上岳からも見事な庭石を運んで下さるやら、手持ちの珍石、旅行土産の岩石まで寄贈して頂くやらして、日本の物はもちろん、遠くスエーデン、ノルウエーの石まで集まった。五年度は気象観測台つくり平山さんなど特技のブロック積み奉仕され、その後の気象観測も本格的になつていった。最後の年は水草園つくりであつたが、田中、砥綿、松沢の三委員長さんの卒先指揮のもとに、この時も砥上岳から見事な庭石を運んで頂き、行武さんの水道工事、吉村さんの左官工事、庭づくりの徳永さんの技術提供資材奉仕など予想外の大水草園ができた。その間に健康教育の優秀賞を受けると、郷土彫刻家の斉田文夫さんが、見事な健康像をつくつていただくし、オリンピックの旗竿が払下げになると、校医の田中先生の寄贈などあつて、PTAは直ちに奉仕に出られ、工事は村下さんがりっぱに掲揚台を作つて下さった。そして砥綿さんが石材店にあつて、大理石に記念の文字を彫りこんで寄贈された。

こうした雰囲気の中で花いっぱい運動は、自ずと生れていった。伊藤先生は、菊や朝顔のコンクールを企画したり、自らは、夏休みも返上して菊作りに励まれた。又校区の今村さんが年々花苗を三万円位寄贈されるので、第一回のPTA委員総会は、午前中花植作業を例年の行事とするほどになった。

第13回 日本を美しくする会の総会



新新塚駅早朝清掃/いづか明星寺団地自治会
2月22日(土曜日)



「新飯塚駅早朝清掃」は、仲間の訃報のため雨☔の中での二人ボッチのトイレ磨きでした。

新宿駅街頭清掃に参加

2月20日(木曜日)



2月19日(水曜日)第13回日本を美しくする会の総会が行なわれた。第二回目に帆足先生に同行して参加した。以来、毎年帆足先生の名代として参加させていただいている。今年も同じく13回総会に参加したが、今年は少し違った。なぜか、帆足先生の帽子(ハット)をかぶりたくなった。自分的には、こう判断した。(きっと帆足先生も総会と新宿駅清掃活動に参加したかったんだろうと、...だから、ちょっと慣れない帽子に恥ずかしかったが、総会と掃除に似合わず頭にのせていた。きっと、道友たちは変?と感じただろう。まあ、帆足先生が満足して喜んでいるのであれば万歳。ともあれ、今回の新宿駅街頭清掃にも沢山の気づきと感動を得られたことは間違いない。袈裟右衛門 拝

日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 315 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前 6 時 15 分～

【第一回】平成 5 年 12 月 8 日開催

福岡実践人・JR九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 **ハウスマイト**



第315回 博多駅早朝清掃

2月8日(水曜日)

126名参加



今朝は、博多駅早朝清掃 315 回目を無事終わることが出来ました。2月は、例年一番冷え込みが厳しい早朝清掃になるのですが、今朝は、思った程冷たくなく、体が動きました。

参加者内訳

一般：32名（内小学生3名）、女子高生：76名（内先生2名）、大学生3名（内教授1名）、留学生15名（内先生3名）の合計76名での活動でした。



初参加の博多駅早朝清掃利用者



初参加の精華女子テニス部員



博多駅長の挨拶



第120回 冷泉公園&櫛田神社早朝清掃

2月2日(日曜日)



冷泉公園
8名参加

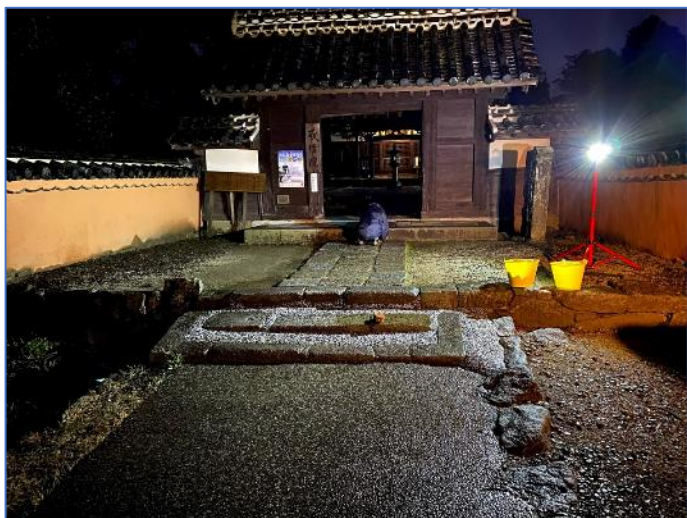


櫛田神社
8名参加



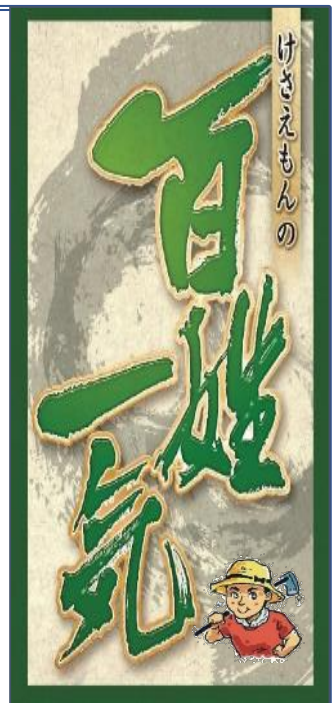
令和を巡る早朝清掃／戒壇院 2020.1.25～

2月29日(土曜日)



令和を巡る早朝清掃in戒壇院

2月29日、土曜日、この日は昨夜から降り続く雨でした。先月は境内の落葉掻きを行ないましたが、今回は折角の雨ですので、バケツとたわしを準備して出かけました。戒壇院の山門の石段と石畳をゴシゴシと磨くと長年の苔と泥汚れが落ちて行きます。明るくなった景色に磨かれた石畳がくっきり映し出されました。



2019年1月から、毎月深谷市のOさん宅に通うようになって14回目、お掃除道友がトマトの収穫作業を楽しみました。。途中深谷駅に立ち寄り「渋沢栄一翁座像」に触れ、ついでにお掃除道友らしく、トイレのチェック。。「心磨きの場に貸してもらえたらなあ！！」とつぶやき、後ろ髪を引かれる思いでOさんの農場へ直行。ミニトマトの収穫作業を慣れない手つきで粛々と行った。お昼は、Oさんの奥様の手料理に舌鼓、盛大なおもてなしを受けた。感謝です。これでもか！というほどの料理。残りはお持ち帰り・翌日の新宿事務所前の朝ごはん！！

物が見えているという体験の核心は何であろうか。あらためてこう問われると、だれでも返答に窮するであろう。視覚心理学の古典理論も、この単純直截な問からはじまった。風景体験の基本は物を見ることにあるのだから、われわれも、心理学者のたどった道筋を、その出発点だけでも追体験しておきたい。

複雑な現実の視覚世界をごく単純にモデル化したのが、この図を、静かにじつと眺めて感じる。さまざまな印象のなかで、黒地のなかに白色の「形なすもの」がみえるという、あたりまえの事実が最も基本的である。と心理学者はいう。白と黒の視覚刺激の単なる物理的布置が、認識上一つの有意義なまとまりをなす白い「形」(ゲシュタルト)として、黒地のなかに知覚される。そのことが、まず特記されるべき心理的事実なのである。白い形のほうを「図」黒地のほうを「地」と称する。「地」も「図」も、物理的存在の呼称ではなくて、物と心の交わりが生んだ一つの「こと」である。

「地」となりやすい部分は、朦朧とした、つかみどころのない空間として、「図」の背後にまで拡がっているように感じられる。一方「図」には、確とした存在感がある。このとき境界線は、「図」に属する輪郭線として意識される、等々の性質が観察される。つまり、「図」とは、物が現前するという意識であり、「地」は、その周辺にあつて、「図」の意識をきわ立たせる。「地」が意識の中心になるような瞬間があれば、それはもはや「地」ではなく、「地」が無意識化された瞬間、「図」は光り輝く。視覚世界における「天地の初めの時」といってよい。

ところで、「図」も「地」も、それ自身単独では意味をなさない。「地」であつて「図」あり、「図」あつて「地」であ

るという点に、格別の注意がはらわれるべきである。実験室でつくり出される「等質視野」という、絶対的な、「地」の「形なき世界」は、現実の世界では、さいわいにもほとんど起こりえない。「図」も「地」もたがいに隣り合わずという「縁」を結んで初めて意味を生ずるわけである。

風景学入門より

中村良夫 著

中公新書 二〇〇〇年

二〇二〇年二月二二日

広葉の林を育てる会

興膳 丈治

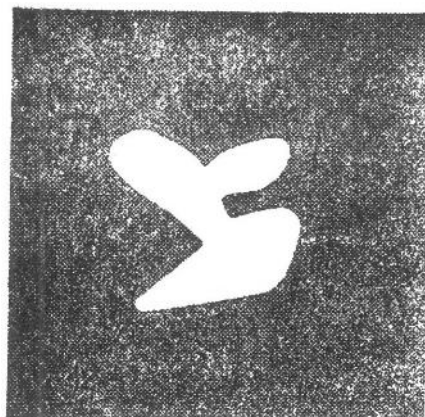


図7 「地」と「図」 黒地のなかに白い形(ゲシュタルト)が見える。前者を「地」、後者を「図」とよぶ。ただの白い刺激布置が形をなして見えるのは、不思議なことである(図はルビンによる)。





再生三月号

令和元年三月八日発行（毎月一回八日発行） 創刊 平成二十八年九月一日 発行人 富吉 袈裟右衛門

| 3 月の活動予定表 | | | | | | | | | | | | 4 月の活動予定表 | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|--------------------------|------------------|-------------|---------------|------------|-----------------|-------------------|----------------|-------------------|--------------|-------------|---------------------|------------------|-----------|--------------------------|---------------|-------------|----------|--------------------|-----------------|-------------------|----------------|-----|
| 日 | 1 | 1 | 7 | 7 | 8 | 14 | 19 | 19 | 21 | 22 | 24 | 28 | 29 | 4 | 5 | 5 | 8 | 11 | 18 | 25 | 26 | 28 | 29 | |
| 曜 | 日 | 日 | 土 | 土 | 日 | 土 | 木 | 木 | 土 | 日 | 火 | 土 | 日 | 土 | 日 | 日 | 水 | 土 | 土 | 土 | 日 | 火 | 水 | |
| 行事活動名 | 榎田神社トイレ磨き | 冷泉公園トイレ磨き&トイレ拭き 第121回 | 福岡空港ミリオンプ清掃 第21回 | 仁風読書会 | 博多駅早朝清掃 第316回 | 新飯塚駅早朝清掃 | 埼玉県農業生産者 巡回 未確定 | 農作業イノベーション協議会 未確定 | 的場駅早朝トイレ磨き 第1回 | 深谷市 論語と掃除に学ぶ会 第1回 | 新国立競技場早朝清掃 | 令和を巡る早朝清掃 | 福岡掃除に学ぶ会 福岡実践人 世話人会 | 福岡空港ミリオンプ清掃 第22回 | 榎田神社トイレ磨き | 冷泉公園トイレ磨き&トイレ拭き 第122回 | 博多駅早朝清掃 第317回 | 令和を巡る早朝清掃 | 新飯塚駅早朝清掃 | まなざし発行35周年記念大会 未確定 | 埼玉県農業生産者 巡回 未確定 | 深谷市 論語と掃除に学ぶ会 第2回 | 的場駅早朝トイレ磨き 第2回 | |
| 場所 | 榎田神社 | 冷泉公園 | 福岡空港 周辺一万m | 福岡空港 月隈第一緑地 | 博多駅筑紫口 | 福岡県飯塚市 | 埼玉県川越市 | 埼玉県広域 | 埼玉県 JR川越線の場駅 | 埼玉県 深谷市 JR深谷駅 | 地下鉄外苑前駅 3番出口 | 福岡県太宰府市 戒壇院 | 仁風庵 | 福岡空港 周辺一万m | 榎田神社 | 冷泉公園 | 博多駅筑紫口 | 福岡県太宰府市 戒壇院 | 福岡県飯塚市 | 滋賀県 | 埼玉県川越市 | 埼玉県 深谷市 JR深谷駅 | 埼玉県 JR川越線の場駅 | |
| 開始時刻 | 6時 | 6時40分 | 6時30分 | 7時30分 | 6時00分 | 6時30分 | 19日&23日 | 終日 | 5時30分 | 6時 | 5時30分 | 6時30分 | 6時30分 | 6時 | 6時 | 6時40分 | 6時00分 | 6時30分 | 6時30分 | 13時 | 26日&29日 | 6時 | 5時30分 | |
| 運営団体 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡仁風読書会 | 福岡掃除に学ぶ会 | いじつが掃除に学ぶ会 | NPO法人楽農人 | NPO法人楽農人 | 未確定 | 未確定 | 未確定 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡会 福岡実践人 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | 福岡掃除に学ぶ会 | いじつが掃除に学ぶ会 | まなざし重心塾 | 未確定 | 未確定 | 未確定 |

発行人(編集人) 富吉 袈裟右衛門

- ◇福岡掃除に学ぶ会/認定NPO法人 日本を美しくする会
- ◇福岡仁風読書会/一般社団法人 実践人の家
- ◇笑仲クラブ/特定非営利活動法人 楽農人

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 <<仁風庵>>
 TEL 092-931-8155(掃除) 931-8150(読書) FAX 092-931-8120
 E-mail fukusukai@souji.link (掃除) agri@kesajin.link (農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。